

私は、日本で約1カ月間の研修に参加、その後帰国し、モンゴル中小企業庁とミルクロード社の経営陣に対して5回研修成果を発表しました。おおむね肯定的な評価で、日本の研修講師陣に2回のフォローアップで輸出計

ナビゲーター

画の改定につき意見交換しました。

私たちが支援しようとしているミルクロード社では、輸出計画は全般的に承認され、首都中心部にあったオフィスは賃借料削減のため移転し、稼働率を高めるため従業員数を10人から7人に減らして、

日本への期待 世界各地から

其

126

非効率なコストを削減し、専門性に見合う昇給も実施しました。

もともと各種の資金を調達しながら大規模投資をして、大きな工場建屋、農作業場を建設する予定でしたが、大幅に予算を削減し、投資費用を温存しながら国内投資家と共に小規模の融資を受け、セントラルヒーティングを備えた中規模の工場建物から出発することになりました。

これにより国際的な基準を満たす工場棟を確保し、品質を維持しながらHACCP

日本での学びに感謝

モンゴルから(下)

(衛生管理の国際的な手法)を紹介する良い機会につながると思われます。

いろんな支援もあって、トルコから2台の牛乳乾燥・延伸装置を購入することが合意されました。この決定により設備コストは3分の1になります。

このプロジェクトで私たちは、再来年からモンゴル産ナチュラルチーズを輸出する計画を活動の支援を続け、プロジェクトの実施会社と協力しながら、市場をより詳細に研究し、協力関係を拡大できる

パートナーを見つけ、輸送物流に関する課題をより簡単に解決し、製品の消費量を増やすための包括的な開発計画を追及してきました。

実は本年3月には、東京ビッグサイトで開催された、食品や飲料の展示会「フーデックスジャパン2025」に参加しました。会場でモンゴルのナチュラルチーズを紹介し、知名度を高めることができました。私たちのターゲットとする国は日本だけではなく、海外での商機をのちのちの輸出振興プロジェクトに活用したいと考えています。

私たちの努力は長い道のりをたどり、皆さんの休日の食卓に彩りと輝きを添えることがいずれやって来ることを切に願っています。もし日本へ正式に輸出することができれば、ぜひご賞味下さい。

なお、3月31日のモンゴルから(上)の市場データは、OECD(オプザバトリー・オブ・エコノミック・コンプレキシティ)の各国統計データを使用しました。

最後に私自身の紹介を簡単にします。私は、モンゴル国中小企業庁で中小企業のための輸出振興プロジェクトを担当しています。相手先市場への進出のための支援と要約できますが、具体的にはそのための情報収集、広報、技術開発、連携の促進などに携わっています。モンゴルの中小企業は輸出経験に乏しく、資金的に十分さが顕著といえます。今回の縁で、モンゴルのナチュラルチーズを扱ってくれる会社があれば幸いに思います。近い将来、日本市場にモンゴルのチーズが並ぶことを夢見ながら、この研修に協力してくれた日本の皆さまに感謝して筆を置きます。

【エンフツエツエグ・バツト・オチル、ルーム中産連】
(月曜日に掲載)